# 各関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

## 病害虫発生予察情報について

## 病害虫発生予察特殊報第3号を送付します。

## 平成18年度病害虫発生予察特殊報第3号

1 . 病害虫名 タバココナジラミ バイオタイプQ 学名: Bemisia tabaci Q-biotype

2.発生作物 ナス、ピーマン・シシトウ、キュウリ、トマト等

#### 3. 発生経過

平成 16 年秋頃より、県中央部のナス科果菜類の施設栽培において、薬剤感受性の低いコナジラミ類が多発し、すす病や生育阻害等の被害が発生した。また、平成 17 年には、これまでシルバーリーフコナジラミの発生が認められなかった県北部の中山間地域等においても、コナジラミ類の多発による被害が発生した。

同年11月、県中部及び県東部(安芸市、香美郡香我美町(現:香南市)、南国市、高知市)のナス、シシトウ等施設栽培9ほ場でコナジラミ類を採取し、独立行政法人農業・食品産業技術研究機構野菜茶業研究所に遺伝子解析による検定を依頼した。その結果、安芸市、香我美町、南国市の7ほ場でタバココナジラミバイオタイプQが確認された。

平成 18 年に、県内各地でコナジラミ類を採取し、一部は野菜茶業研究所に同定を依頼するとともに、高知県農業技術センター生産環境部及び病害虫防除所においてもPCR法により検定を実施した結果、ほとんどの調査地点で本種の発生が確認された。平成 19 年 2 月末までに、16 市町村で発生が確認され、本種はほぼ県内全域に分布していると考えられた(表 1、2)。なお、PCR法の手順は、上田氏(九州沖縄農業研究センター、2006)の方法に準じた。

本種は、海外ではスペイン、イタリア、イスラエル、中国等で発生しており、日本では、 平成 17 年 2 月に宮崎県で初確認されて以来、西日本を中心に分布が拡大し、平成 19 年 2 月末までに 35 都府県で発生が確認されている。

## 4.形態、生態等

成虫は体長が約0.8~1mm、白い翅を持つ淡黄色の小さな虫である(図1)。幼虫は黄色の長楕円形、4齢幼虫(蛹)はやや厚い小判型(図2)。本種は従来から発生していたシルバーリーフコナジラミ(タバココナジラミバイオタイプB)や日本在来系統のタバココナジラミと成幼虫ともに形態的な差異がほとんど認められず、肉眼等での識別はできないが、お互いに遺伝子型が異なり、交雑しないと言われている。また、寄主範囲や寄主植物への影響等、生

### 物学的な性質も異なる。

本種の寄主範囲はシルバーリーフコナジラミと同様に広く、ナス科(トマト、ナス、ピー マン、シシトウ)、ウリ科(キュウリ、メロン)、アブラナ科(キャベツ、ブロッコリー)、 ヒルガオ科(サツマイモ)、ユリ科(アスパラガス)、シソ科(シソ)、キク科(キク、ガ ーベラ)、トウダイグサ科(ポインセチア)など、多種の栽培作物に寄生する。野外での越 冬については、現在調査中である。

## 5.被害状况

他のコナジラミ類と同様、吸汁により生育を阻害する。また、成幼虫の排泄物はすす病を誘 発し、葉や果実を汚すため、光合成の阻害や果実品質が低下を引き起こす。ピーマン、シシト ウでは、多発すると葉や生長点の黄化、果実の着色不良となるが、シルバーリーフコナジラミ の寄生によって発生するような極端な果実の白化は確認されていない。また、シルバーリーフ コナジラミと同様、トマト等に被害を及ぼすトマト黄化葉巻病のウイルス(TYLCV)を媒 介することが確認されている。さらに、ウリ類の黄化症の発生との関連が疑われている。

### 6. 防除対策

- (1)苗からの持ち込みを防ぐため、購入の際はコナジラミの寄生の有無を確認し、寄生が疑わ れるものは使用しない。
- (2)施設栽培では、防虫ネットや黄色粘着テープを設置する。また、ハウス周辺の雑草は増殖 源となるので除草を行う。
- (3) タバココナジラミバイオタイプQは、シルバーリーフコナジラミに対して効果の高かった ピリプロキシフェン剤(商品名:ラノー)や多くのネオニコチノイド系剤(商品名:アドマ イヤー、アクタラ、ダントツなど)、エトフェンプロックス剤(商品名:トレボン)に対し て感受性が低いことが報告されている。したがって、これらの薬剤による防除効果が低い場 合は、他の薬剤に切り替える。
- (4)薬剤感受性の更なる低下を回避するため、同一系統の薬剤の連用は避ける。また、抵抗性 発達の恐れのない、気門封鎖などの物理的防除剤や昆虫寄生菌等の生物的防除剤も活用す
- (5)栽培終了後は、成虫の施設外への分散を防ぐため、株元を切断したうえで施設を密閉して 蒸し込み、虫を死滅させる。



図1.タバココナジラミバイオタイプQ成虫 図2.羽化直前の4齢幼虫(右)



表1 タバココナジラミ バイオタイプ検定(野菜茶業研究所調べ)

採取場所	採集植物	採集年月	バイオタイプQ発生ほ場数 /採集ほ場数	備考*
香南市	ナス	H17.11	1 / 1	Q
安芸市	米ナス、ナス	H17.12	2 / 3	Q,B
高知市	グロリオサ	H17.11	0 / 1	В
南国市	シシトウ	H17.11	4 / 4	Q
南国市	セイタカアワダチソウ	H17.12	(0 / 1)**	В
高岡郡津野町	ナス	H18.7	1 / 1	Q
南国市	ピーマン	H18.7	1 / 1	Q
土佐郡土佐町	トマト、露地ナス	H18.9	3 / 3	Q、在来系統

表2 タバココナジラミ バイオタイプ検定(高知県調べ)

採取場所	採集植物	採集年月	バイオタイプQ発生ほ場数 /採集ほ場数	備考*
安芸郡安田町	ナス	H18.6、11	2 / 2	Q′B
安芸郡芸西村	ピーマン	H18.8	1 / 1	Q
南国市	ピーマン、シシトウ	H18.7	3 / 3	Q,B
高知市	ピーマン	H19.2	1 / 1	Q
香南市	シシトウ、ナス	H18.12、H19.1	2 / 2	Q
長岡郡大豊町	米ナス	H18.9	1 / 1	Q,B
長岡郡本山町	米ナス	H18.11	1 / 1	Q、在来系統
長岡郡本山町	スイカス・ラ	H19.2	(0 / 1)**	在来系統
吾川郡春野町	トマト	H19.1	2 / 2	Q,B
吾川郡春野町	キュウリ	H18.10	(1 / 1)**	Q,B
土佐市	ピーマン	H19.2	1 / 1	Q
高岡郡郡日高村	トマト	H19.2	3 / 3	Q,B
高岡郡檮原町	米ナス	H18.8	1 / 1	Q
四万十市	米ナス	H18.12	1 / 1	Q
土佐清水市**	キュウリ、ナス	H18.12	2 / 2	Q、B

<sup>\*</sup>地域内で発生が確認されたパイオタイプ

<sup>\*\*( )</sup>は野外における寄主植物上又はトラップ植物を用いてタバココナジラミを採集したもの。